

2016年度前期

知の市場(シラバス)

新規

科目No.	共催講座CT543	科目名	サステナブル消費論					副題	今後の持続可能な社会で消費者はどのようにあるべきかを考える		
連携機関名	サステナビリティ消費者会議	水準	基礎	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	土曜日13:00~17:10	拠点 (開講機関)	東京・お茶の水女子大学 (お茶の水女子大学ライフワールドウオッチセンター)
科目概要(300字)	21世紀に入り、日本は長期的な経済不振に加え、グローバル化、情報化、少子高齢化による急速な社会構造変化が進展し、地球環境やエネルギー・資源問題を含めた消費をめぐる社会問題が山積している。消費生活は、大量生産・大量消費・大量廃棄の時代から、購入、使用、廃棄、再生の各場面において、社会、経済、環境等に与える影響を考慮した選択と行動が求められる「持続可能な消費」の時代へと変化しつつある。消費者は公正かつ持続可能な「消費者市民社会」の構築に積極的に参画することが求められる。行政や企業に寄せられる様々な消費者トラブル事例から、持続可能な消費に向けての課題や消費者、企業、行政の協働、消費者の意識・行動はどうあるべきか、どんなことから始めればよいのか、などについて受講者とともに考察する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)	講義日	開講場所	取組め者	講師	所属	
持続可能な社会と消費者の関係	1	持続可能な社会とは	私たちの社会や環境は未来の世代に引き継げるのか、多様な社会問題や環境問題などの事例を基に、消費者が社会の一員として、より良い社会を未来世代に引き継ぐために、持続可能な社会を目指してどのような行動をするべきか、また企業や行政はどうあるべきかを、受講者とともに検討する。	2016/4/16	お茶の水女子大学 生活本館124号室(第1講義室)	古谷由紀子 大島 昌子	古谷由紀子	サステナビリティ消費者会議、経営倫理実践研究センター	
	2	現在社会の問題点	わたしたちは“安い”“よい品質”“安全・安心”などを理由に商品を選んでいるが、大量消費・大量廃棄という生活自体の問題点は何か。さらに持続可能な社会に向け、消費者、企業、行政はどのような取組みをしており、そこにはどのような課題があるかなどについて、受講者とともに引き続き検討し、当科目の導入とする。					丸山琴野	国民生活センター 相談情報部
消費者トラブル事例の背景と問題点の考察	3	契約に伴う消費者被害	契約を発端にした金銭的被害や怪我などの身体的被害の最近の消費者問題を事例に、その背景や被害に遭わないためにはどうしたらよいかなどを、受講者全員で考察する。	2016/4/23			小笠原むつみ	林千弘	消費生活センター
	4	無料で格安という勧誘による消費者被害	社会や環境にも配慮した消費、すなわち「持続可能(サステナブル)な消費」にはどのようなものがあるか、あるいはどのようにすれば実現できるかという観点から、最近の消費者トラブル事例について紹介し、受講者全員で考察する。						2016/5/7
	5	表示は必要な情報を知るための大切な権利	電子レンジの表示に関するアンケート調査結果や「まげな危険」などの消費財の注意表示の事例等を参考に、安全と表示の関係を考察し、事故に遭わない自律した消費者となるためにすべきことについて受講者と共に検討する。	2016/5/14			古谷由紀子	経営倫理実践研究センター	
	6	企業活動事例の考察	将来の安全・安心な社会のために、企業はどんな活動をしているのか、消費者はどのような企業のどのような商品・サービスを選びつつ、使って暮らすのがよいのか、企業の活動事例を企業担当者からの講義、サステナビリティレポート、パンフレット、HP等を教材に、消費者の立場、企業の立場、さらに行政の立場で考察する。					2016/5/21	古谷由紀子
7	企業のCSR活動とステークホルダーとの協働	持続可能性に向けて多様な主体による合意形成を目指すマルチステークホルダー・プロセスや企業のCSRにおけるステークホルダーとの協働が重要視されている。企業のCSRの基準としても活用されている「ISO 26000(組織の社会的責任に関する手引き)」(2010年発行)なども参考に、これらの仕組みの意義を考察する。	2016/5/28	古谷由紀子 他全講師			サステナビリティ消費者会議、経営倫理実践研究センター		
8	国際的な動きと消費者教育推進法	2012年施行の「消費者教育推進法」では消費者が「消費者市民社会」構築に主体的に参画するための消費者教育、2015年9月国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、先進国も途上国も、そして政府も企業も消費者も一緒に、持続可能な社会にむけて取組むことが求められている。国際的な動きと日本の状況について解説する。							
消費者市民社会と消費者	9	消費者市民社会と消費者	消費者の権利と責任、消費者団体の役割と責任について、エシカル(倫理的)消費、フェアトレード(公正貿易)などの事例を紹介し、それらを基に、消費者が果たすべき役割の重要性について討論する。	2016/6/4			古谷由紀子 他全講師	古谷由紀子 他全講師	サステナビリティ消費者会議
消費者の役割	10	消費者にできること	消費者の権利と責任、消費者団体の役割と責任について、エシカル(倫理的)消費、フェアトレード(公正貿易)などの事例を紹介し、それらを基に、消費者が果たすべき役割の重要性について討論する。						
まとめと討論	11	消費者市民チェックリストの検討・作成	今まで、皆で学び、考えたことの総まとめとして、消費者啓発資料として「持続可能な消費のための消費者市民チェックリスト」を、グループに分かれて作り、グループごとに成果発表を行う。	2016/6/4	古谷由紀子 他全講師	古谷由紀子 他全講師	サステナビリティ消費者会議		
	12	消費者市民チェックリストの検討・作成	今まで、皆で学び、考えたことの総まとめとして、消費者啓発資料として「持続可能な消費のための消費者市民チェックリスト」を、グループに分かれて作り、グループごとに成果発表を行う。						